

ジェイアールバス東北本部

第23号

2023年3月14日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申5号「2023年度賃金引上げ等に関する申し入れについて趣旨説明を行う！」

【組合】

JR東労組バス東北本部は、3月14日に「2023年度賃金引上げ等に関する申し入れ」について趣旨説明を行いました。

- ✓ 2022年度の業績は、上期決算で黒字となり、通期においても4年ぶりの黒字決算が見込まれている。黒字収益を確保出来たのは、組合員・社員の努力と協力があつたからこそである。
- ✓ 多方面による物価上昇とコロナ禍での収入減により生活が苦しくなる一方である。
- ✓ 全箇所が要員不足の中で、会社の黒字収益を達成するために必死になって勤務協力してきた。これだけ協力してきたからには満額以外の回答はあり得ないという思いは十分受け止めてほしい。
- ✓ 要員不足のなか、これまで社員は最大限協力してきたが限界にきている。採用の強化も重要だが今いる社員を辞めさせないようにしなければならない。もう少し労働条件を良くすれば人材流出が少なくなり、新たに採用した人が定着すると考える。
- ✓ 今いる社員がこの会社に残って良かったと思えるようにしなければならない。
- ✓ 組合員・社員の切実な声と期待に応えるためにも、是非とも満額での回答を強く求める。



満額回答！！



【会社】

- ✓ 要員事情が厳しい中においても、列車代行輸送や繁忙期輸送を担っていただいたことに大変感謝している。白沢・七北田も含めてジェイアールバス東北会社が一体となって取り組んだ成果であり、現場の社員に対しては本当に感謝申し上げます。
- ✓ 僅かではあるが黒字経営に結び付いたのは、社員の努力が結果として表れたという認識である。
- ✓ 物価上昇について光熱費や食費が上がっていることは皆さんと同じであり共通の認識である。
- ✓ 総括していえば人材は最高の経営資源であるのは間違いなく、社員第一の認識は労使共通である。
- ✓ 人材流出については一時期よりは減少傾向にあり、退職の理由も、新しい仕事や自分の夢を求めた仕事に就きたいなどだが、その中でも家族の病気や介護など家庭の事情が一番多い。退職を考えている社員に対しては面談し対応している。ただし、これまで賃金に不安を感じて退職した社員がいたことは事実であるが少数であり、徐々に人材流出は減少していると考えます。
- ✓ 当社はバス業界の中では回復傾向にあるが、自動車や電気関連といった他の産業と比較すると70%ほどの回復率である。
- ✓ 昨年の年末手当も社内で議論し最大限に支給させていただいた。今回の黒字になったというのも間違いなく社員の努力であるため、できるだけ努力に報いることができるよう会社全体で考えながら最大限支給することを検討していく。

全組合員一丸となり、23春闘勝利に向け職場からたたかいをつくり出そう！！